

かみ

議会だより

平成30年

9月定例会

第55号



女性パワーで
地域起こし

(要の滝 小代区久須部)

— CONTENTS —

- 29年度 決算認定 2～4
- 補正予算 5
- 契約（駅前広場改修工事） 6
- 町政を問う（14人が一般質問） 7～13
- この人 ここにあり 16

平成29年度 歳入歳出決算認定

実質公債費比率9.2%に改善、町の貯金額は、3億935万円増（昨年度比）の45億382万円（財政調整基金+減債基金）

平成29年度香美町一般会計及び7特別会計決算の認定は、決算特別委員会（西谷高弘委員長）に付託され、5日間の審査を経て、「原案認定」と決定しました。9月28日の最終日、委員長から委員会での審査報告があり、採決の結果、一般会計、特別会計ともに認定しました。

一般会計 歳入総額143億5648万円 歳出総額139億3259万円 差引残額4億2389万円
 特別会計 歳入総額54億3172万円 歳出総額54億2119万円 差引残額1053万円でした。

一般会計

反対討論

山本 賢司議員
 一般財源として使える財政調整基金等を約50億持っていながら、子育て支援、子育て世代の負担軽減など、子どもたちに夢と未来をつなぐまちはくりの展望が示されたとは言えない決算であり反対する。

賛成討論

西坂 秀美議員
 予算の目的に添った執行であり、予算・財政状況をよく把握されて施策展開がされており、賛成する。

国民健康保険事業特別会計

反対討論

山本 賢司議員
 法は、都道府県毎に国

保事業を一本化すると定めてある国保の財政調整基金がなくれば増税の道を歩むことになる。よって反対する。

賛成討論

西坂 秀美議員
 国保事業は、市町に加え県も一体となつて経営基盤の安定を図るもので、国保事業のリスクを抑えるため健康増進に努める等、保険料は前年とほぼ同額であり賛成する。

後期高齢者医療保険事業特別会計

反対討論

山本 賢司議員
 75歳以上に区切った医療制度は続けさせてはいけない。国民の命と健康を守る制度になるためにも反対する。

賛成討論

西坂 秀美議員
 75歳以上の医療を守る大切な制度。高齢者の医療を社会全体で支え、弱い立場の者にも配慮しており賛成する。

介護保険事業特別会計

反対討論

山本 賢司議員
 原則利用者1割負担の応益負担が収入に応じて2割3割負担の応能負担となつて原則が変えられていくのを認める訳にはいかないので反対する。

賛成討論

西坂 秀美議員
 介護のニーズは多様化しており、制度の維持は必要。地域包括ケア体制にも努力されており賛成する。



不法投棄防止

問 開設と設置場所の説明を

答 (1)設置場所は香住区米地で、空き家バンク物件を賃貸し、住居の一部を事務所として開設しています。(2)事務所の名称は「ホワイトハット」で、インターネットの広告運用やホームページの改良などを業務内容としています。

防災安全課

問 29年度津波対策を検討したか

答 平成30年3月に日本海沿岸地域津波浸水津波想定図が発表されました。町においても「仮称日本海津波防災インフラ整備計画」を策定し津波ハザードマップ、津波避難計画を策定いたしました。

税務課

問 町税の中で唯一固定資産税が減額しているが

答 固定資産税の調定額は対前年度比△1.3%金額にして概ね1180万円の減額となり、土地の鑑定評価を実施した結果宅地価格の下落を確認しました。

町民課

問 香美町環境美化推進隊による不法投棄防止パトロールは

答 町内の公共施設や町道の維持管理と合わせ、ごみの捨てられやすい場所を定期的にパトロールしており平成29年度は31回、不法投棄の多い場所については防止啓発看板を設置し、その後もパト

健康課

問 地域医療対策費、医師確保の取り組みは万全か

答 地域医療研修として8名の若手医師を受け入れるとともに8月には「地域医療夏季セミナー2017 in 香住病院」を開催し、医学生10名を受け入れ、今後の医師確保につながる取り組みを行いました。

福祉課

問 高齢者等住宅改修助成事業、同様の施策が介護保険会計でもあるが

答 障害者を対象とする日常生活用具給付等事業としての住宅改修制度、介護認定者を対象とする住宅改修費の制度があり高齢者等住宅改修助成事業はこの2つの制度を利用して住宅改修を行う場合において、上限を超えて住宅改修を行う必要が

農林水産課

問 魚食普及、地産地消の推進内容は

答 民間グループによる町内各地での「調理方法が解らない」という若いお母さん方へ料理教室の開催は魚食普及、地産地消に繋がっています。学校給食への魚の提供は、魚食普及だけでなく、地元食材の理解を深め、ふるさとを大切にすることを育む取り組みにも繋がっていると考えます。

建設課

問 生活基盤道路の積雪時の出動体制は

答 出動の基準積雪量は15cm以上、若しくは15cm以上が見込まれるときに自動し、完了予定時刻は、変更もありませんが午前8時終了を目途に作業を行っています。

主な決算質疑

総務課

問 ふるさとづくり寄付金（ふるさと納税）が、昨年より約2千9百万円減額となっているが、その内容は

答 7月から返礼品の割合を約5割から3割に引き下げたと共に、返礼品の宿泊利用助成券及びスキー場リフト券を廃止した影響により減額となりました。

財政課

問 諸収入、雑収入の不能欠損234万7千円には何が含まれているのか

答 ①要・準要保護就学援助費返還金が時効期間5年を経過したこと。②農産物等加工施設光熱水費実費弁償受入金（私債権）です。③農産物等加工施設利用料受入金（私債権）です。

企画課

問 ICT関連オフィス

観光商工課

問 ジオパークガイドの実績と活用は

答 山陰海岸ジオパークを観光や商用で活用するためのガイド養成講習会（9回）を推進協議会と共同開催しました。受講者は33名で26名修了し、その中から新たなガイド団体が生まれました。

上下水道課

問 矢田川クリーンセンターの後処理に係る経費等は

答 (1)処理に係る経費（1244万1421円）後処理期間中の職員賃金、光熱水費、電気や消防等の保守点検委託料(2)解体撤去に伴う経費（2589万2080円）①解体撤去調査設計委託業務・解体撤去事前調査（資料収集、地歴

調査結果報告書、土壌汚染調査設計書の作成など）・解体撤去・跡地整備工事発注仕様書の作成②土壌調査委託業務土壌採取、検体成分検査 (3)土地借地料(155万5052円)

教育総務課

問 余部小学校用地購入事業の詳細説明を

答 余部小学校のプール用地として土地賃貸借契約を締結していましたが、購入してほしいとの依頼があり購入しました。当該用地は学校プール施設として活用します。

こども教育課

問 放課後児童クラブの保育体制と課題は

答 入所児童数15名程度を目安として、支援員を1名配置することになっていますが、1クラスあたり2名以上の支援員を配置することになっています。足りない場合は経験者等と交渉して勤務していただいています。

生涯学習課

問 公民館長の勤務体制と課題は

答 中央公民館長は週4日勤務、地区公民館長は週35時間勤務となっております。主事・館長にかかる業務が宛職等を含め過大となりつつあることが課題です。

町長・教育長への総括質疑

問 有害鳥獣対策で新規狩猟免許取得者の助成が29年度わずか1名と少数だが、その要因は

町長 年々高齢化し減少しつつある捕獲班員の確保に向けて、平成26年度から免許取得者へ助成を行い、これまで23名に支援しました。補助金交付者の人数は、年によって多い少ないはありますが、要因として考えられることは、各集落の熱意の差また、有害捕獲した後の「止めさし」への嫌悪感や抵抗感により免許取得者が増え続けること

は難しいが、農作物等への被害軽減に向けて、現行制度を継続・実施し活動を支援します。

問 教育委員会会議において、学校統廃合等やその他長期的な協議が少な

いのは教育長 毎年策定する「教育の重点」や平成28年度に策定した「教育振興基本計画」の内容を協議した際に、学校統廃合や長期的展望に触れていますが、具体的な協議を行ってきておりません。平成30年度は、より多くの保護者や地域の意見を聞くための学校版教育環境会議へ議題に掲げるとともに、定例教育委員会においても今後の教育環境のあり方について意見を伺い協議します。

平成29年度 公立香住病院・水道・下水道会計決算を認定

6月定例会で提案された公立香住病院企業会計決算は、総務民生常任委員会に、また水道事業企業会計、下水道事業企業会計決算は、産業建設文教常任委員会に審査を付託していました。9月定例会で各常任委員会から、審査の経過と結果について報告を受け、いずれも全員賛成で原案を認定しました。

公立香住病院事業企業会計

質疑

問 香住病院常勤医師招聘の課題は

答 常勤医師の招聘は、総合診療科と小児科の医師確保が喫緊の課題となっております。今後も関係機関への医師募集をはじめ、鳥取大学、神戸大学、兵庫県及び全国自治体病院協議会等へ積極的に向き、協力要請を行うとともに、本町に縁のある医師へのアプローチを積極的に進め医師確保に取り組みます。

水道事業企業会計

質疑

問 水需要の今後の推移および人口減少の影響は

答 給水人口の減少とともに節水意識の高揚や節水型機器の普及により減少すると思われます。水道施設の維持管理のために平成32年には水道料金の改定を見込んでいます。

下水道事業企業会計

質疑

問 凍結による漏水被害における下水道料金は

答 凍結破損による漏水は水道料金の減免対象とならないことから下水道料金においても対象としていません。埋設管の漏水であれば水道料金減免の対象となるため認められる全量は減免を行っています。



夏に研修生の受入れ

条例の制定・改定

9月定例会において、新たな条例制定1件、一部改正条例1件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

香美町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例制定

高齢者、障害者等が災害発生時に自ら避難することが困難な者の名簿情報を避難支援に携わる区・自治会、民生委員等に提供し、生命または身体を災害から保護することを目的とする。

質疑

問 現行はどうしているのか
答 社会福祉協議会と地域が支え合い取組んでいます。

問 情報ほどの程度提供するのか
答 すべて提供するものではなく、必要最小限の名簿のみとなります。

質疑

問 適用者の人数は把握しているか
答 戸籍上では判断できないため把握していません。本人の申告によるものです。

反対討論

山本 賢司議員
災害時の実際の運用が定かではなく、区・自治会等の責任が生じる恐れがある。説明が必要。

香美町福祉医療費助成条例の一部改正

未婚のひとり親について寡婦(夫)控除をみなし適用することにより、寡婦(夫)との不均衡を是正すること等の改正。

猛暑から子どもたちを守る！！

香美町小中学校園にクーラー設置設計業務委託料

680万円

産業振興推進！！

但馬牛肥育牛舎2棟建設

2,310万円

将来負担に対応！！

公共施設等管理基金積立

1億5,000万円 他

補正予算



一般会計補正予算
問 幼・小・中学校園クーラー設置の総費用、財源と災害時の避難所として体育館への設置は

答 事業総額は4億2千万円で財源は交付金5千万円・合併特例債3億5千万円・一般財源2千万円です。まずは子どもたちの学習環境整備を第一として体育館への設置は今のところ考えていません。

問 公共施設管理基金はどこまで積み立てるのか

答 目標金額はありませんが、施設管理に平成29年から38年の10年間で約26億円を試算しています。30年間の計画であり、39年以降も多額の財源充当が必要であり、また有利な旧合併特例事業債の期限が37年までであり、毎期約1億積み立て全部使うのではなく、半分の5千万円を基金に積み上げて将来負担に備えていきます。

問 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金(2310万円)具体的事業内容と事業者と場所は

答 但馬牛の肥育牛舎2棟の建設で、香美町但馬牛畜産クラスター協議会が事業主体で実質取り組みは株式会社上田畜産です。場所は小代区忠宮です。

介護保険補正予算

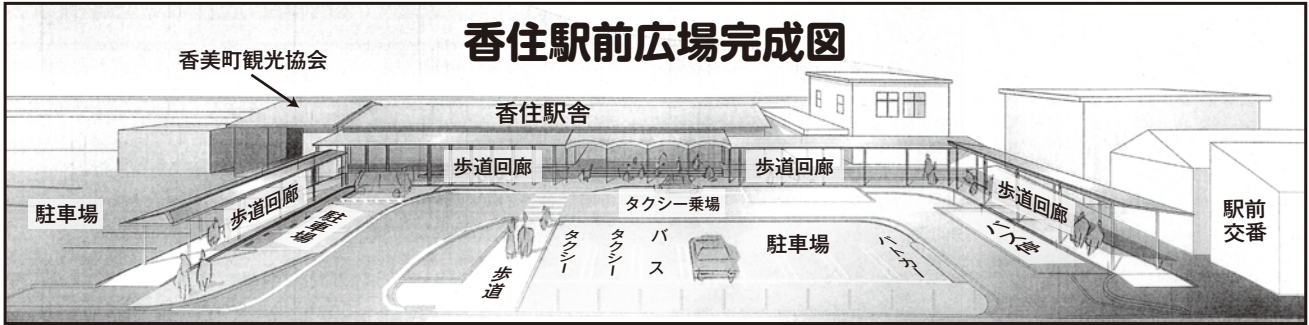
問 システム等改修経費補助金の内訳と当初予算との関係と事業の終了は

答 30年8月、高額医療介護合算サービス費・高額介護サービス費、介護保険における利用者負担割合の見直し等の改正内容に伴うシステム改修です。当初予算額は849万4千円でしたが、その時は国の補助金の額が決定していませんでしたので、今回、国の内示があり次第補正する予定でした。システム改修事業自体は終了しています。

契約

香住駅前広場改修工事 やっと契約なる!

香住駅前広場改修工事の請負契約の締結は、3回の入札不調となったが、(株)西村工務店と随意契約を結び、本会議に上程され全員賛成で可決しました。



質疑

香住駅前広場改修工事の概要

- 1 工期
契約締結日の翌日から平成31年3月25日まで
- 2 工事概要
 - 歩道部屋根設置
構造等 鉄骨平屋建て
面積 190.28㎡
 - 歩道部改修
材質等 インターロッキングタイル舗装
面積 303.20㎡
 - 車道・駐車場部改修
材質等 アスファルト舗装
面積 1,338.80㎡

- 1 契約の目的 香住駅前広場改修工事
- 2 契約の方法 随意契約
- 3 契約の金額 金84,780,000円
- 4 契約の相手方 兵庫県美方郡香美町村岡区
福岡17番地
株式会社 西村工務店

問 1者しか応札がなく、単純に金額が合わないで業者のいいなりで金額を上げてその業者と随意契約を結んだ。そのように見える。そういうことか

答 随意契約に至った経過は、3回目の入札が不調後、参加意志のあった業者に見積もり金額があればお願しいたいと入札審査会で決定をいただきました。決して1者のい

問 3回も入札が不調になったのは、何か大きな原因があったのか。入札に問題があったら責任の所在はどこにあるか

答 これまでの状況から推察すると長い工期とJRの駅前なので関係機関との協議が煩雑であった等で、参加出来にくい状況であったと捉えています。

いなりになったと捉えています。

問 業者の方々が設計図を見て、工事ができるか疑念があったと聞いている。設計に問題があると考えられないか。設計に問題があったら非難すべきは設計業者ではないか

答 設計につきましては、内部でも検討していますので設計に問題があったと捉えていません。

問 工種の種別を建築一式にくくっているが、例えば、土木一式にくくっておれば業者も変わってくる。設計を見ても建築といってもアーケード程度、後はインターロッキングとか舗装で土木が中心である。その辺の選択はどうなのか適正だったのか

答 今回の工事は、建築に直接掛かる経費のウエイトが6割以上が建築に掛かります。主たる工事が建築なので工種は建築で発注しました。

問 30年の冬に雪が降ったとき、どこに避けたか柱の袂に山盛になっていた。

答 また、右上あたりのトイレに入るあたりも山盛に積んでいた。完成図を見ると雪を逃がすところがない。除雪の対応をどのように考えているか

答 降雪の対応は降雪が昨年位あれば除雪をする必要があるのですが、どこかに持つていく必要があります。3月25日出来るように工程を考えていますのでその状況によって検討したいと思えます。

問 工期が平成31年3月25日になっている。冬に掛かると思うが、雪が降ったとき工事ができなくなるのではないか。工期は適正か

答 大雪の場合の駅前広場の対応は、駅前の除雪は建設課なので、建設課と検討していきます。

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月11日と12日に14人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。


一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



朝の登校風景。今日も元気で勉強を



とっても美味しい二十世紀梨



東垣 典雄 議員

背中がすぐにグニャッと曲がる子、背中をきちんと伸ばせない子ども、

子どものランドセルが重い学習上の必要性を考慮指導します

子どもの脊柱側弯症への対応など姿勢教育を家庭と連携して行っているか
問う。

また最近の教科書は、B5版からA4版に、紙質も良くなり、又以前よりかなり重くなっている。学校への登下校、毎日相当の重量の負担となつ

て重そうに通学している姿を見るが対策はされているか

教育長 脊柱側弯症などの運動器疾患を早期発見するための検診を行っています。各家庭で調査票による事前調査、学校医の検診

で早期発見に努めます。小・中学校の教科書はページ数の増加と大判化副教材の多様化により重量が増えています。毎日持ち帰る必要のないものは教室に置くなど学習上の必要性、通学上の負担などを考慮し、各学校においてそれぞれ判断して、児童・生徒に指導しています。



寺川 秀志 議員

二十世紀梨のブランド化を図るべきだブランド化に動き出すなら支援します

二十世紀梨は、長い歴史の中で先達のたゆまぬ研究と忍耐で、兵庫香住の梨として現在も不動の地位を築いている。

そんな中、町も継続的に鳥獣被害、農免道路等

の整備に力を入れるべきところで二十世紀梨のブランド力の強化ということで、元号が来年変わることを機会に、香住の二十世紀梨の最高級の品質規格、ランクを創設し、新しい香住の二十世紀梨のブランドとして定義づけ、後世に残すべきだ

しましたが、選別等に大変手間がかかり、所得向上にもつながらない面もあり、二十世紀梨の秀品を松葉ガニ、柴山ゴールドのように特別に高級ブランド化することは、過去の経験から難しいと考えています。しかし、役員さんあるいは梨農家の生産者さんが再び特別物のブランド化に動き出すとなれば、町としても支援はさせていただきます。



産業振興で町に活力を



来年の夏はしっかり勉強できますように！！

自治体の活力を表す指
数の一つとして公示地価
があげられる。香美町の



西川 誠一 議員

地価の下落が止まらない 香美町だけではありません

平成30年の地価公示価格
では前年からの変動率は
マイナス6・20%で、県
下で2番目、全国でも3
番目の下落率である。
特にここ数年の香美町
の地価の下落率が大きい
が、この現状を分析して
思い切った施策を展開し
ていくべきではないのか

町長 人口減少と少
子・高齢化などによる地
域活力の低下が要因の一
つであると考えます。
そのことにより生産年
齢人口の減少や生産効率
減少による地域産業の低
迷、衰退、消費の減少な
ど地域経済全体が縮小に
向かい、土地が下落して

いると考えます。
香美町だけでなく、構
造的な問題を抱えている
地域共通の問題であり、
町活性化のため現在進め
ています各種施策を積極
的に推進していきます。



見塚 修 議員

学校（園）のエアコン整備を急げ！！ 全てを来年夏までに整備します

私の6月議会での一般
質問では、学校（園）の
温度基準の遵守に向けて
温度計等を設置し、その
結果を踏まえて来年夏に
間に合うように検討する
とのことであったが、

- ① 調査結果はどうか。
- ② どのような問題があ
り、どう対処したか。
- ③ 来年の夏に向けての
対応、計画はどうか

教育長

- ① 6月から調査を実施
し、6月上旬から28度
を超える日があり、下
旬からは30度を超える
日が多くありました。
- ② 厳しい環境での学習
を強いる状況で、授業

への集中力の低下等が
あり、授業前後の健康
観察等生徒の体調管理
に注意を払いました。

町長

- ③ 普通教室、特別教室
のエアコン未整備の小
学校10校、中学校3校、
幼稚園7園に対し、来
年夏までに整備が完了
するように進めます。
その内5校（園）に
ついては12月に予算を
組み、先行整備します。



いつまで続く、この恐怖！

危険空き家については、空き家条例を制定し、空き家対策協議会を立ち上げて取り組むとの答弁であった。台風シーズン到来、降雪を控えて危険度は増し、住民の不安は高



西坂 秀美 議員

危険空き家の早急な対応は必要最低限の措置を図ります

まっている。条例を制定し半年になる。法律問題は難しいと思うが、空き家対策協議会等の現状はどうなっているのか

町長 危険な空き家は108軒が該当し、早急な対策が必要なことは承知しております。条例に基づき勧告等を行うには特定空き家としての認定が必要で、協議会で審議をいただきます。町で景

観地域や生活環境保全地域等の基準も必要です。基準の作成後に協議会で決定をいただき私が認定します。本格的な空き家対策の実現にはまだまだ時間を要します。第三者への危険が切迫した空き家等の対応につきましては条例に基づき必要最低限の措置を図ります。この措置は、町単独でできませんから、協議会の結論を待たずに対応します。



本庁非常用電源



藤井 昌彦 議員

北海道地震、台風21号、西日本豪雨等の被害は、想定からかけ離れている。

災害時の非常用電源は本庁に整備しています

停電は、住民の日常生活特に透析を受けている患者は、不安な夜を過ごすことになる。「卵を一つの籠に盛るな!」という諺がある。リスク管理、リスク分散し、有事に備えることが大切だ。そこで、災害時の対応で①非常時の電源対応は②指示

命令機能③ライフライン④情報管理バックアップ対応は⑤避難所の段ボール製簡易ベット、仮設トイレ、携帯トイレ、マンホールトイレ等の対応は

任者は、町長、副町長、防災安全課長、総務課長の順③上下水道は、給水車、ポリタンクで対応④遠隔地(滋賀県)に重要データ等を保管⑤簡易トイレ等は災害時応援協定団体が準備、段ボール製簡易ベットは今後、企業事業所等と協定を締結し整備します。



ミノフ高原の梨園（香住区隼人）

今後の農業振興対策は 特性を活かした施策を進めます



橘 秀太郎 議員

香美町の基幹産業の一つである第一次産業は主要産業であるにもかかわらず

らず、担い手の減少・高齢化、価格の低迷などの課題を抱えている。

香美町の農業は、米・梨（二十世紀、なしおとめ等）をはじめとして素晴らしい品質のものが多く、良いものをより発信（ブランド化）することで農家の収益を上げること

とが課題解決へ向かうと考えるが、町長の考えは

【町長】昨今の農業情勢は課題も多くありますが、国・県の様々な交付金等の支援制度も活用しながらより一層の施策が必要と考えます。ご指摘のなしおとめは

二十世紀よりも糖度も香りも高く、可食部も多いため期待しています。

今後、世界農業遺産・日本農業遺産の審査もありますが、そのチャンスも農家の収入増につなげていけるよう支援していきたいと考えています。

ヒヤリング・ループの設置について 整備に向けて検討します



西谷 高弘 議員

高齢者・聴覚に障害がある方の為に補聴援助は行政サービスとして考えるべき課題だ。

ヒヤリング・ループは、補聴器等を使用されている方の聞こえを支援する

設備で、マイクを通して音声を直接補聴器や人工内耳へ伝えることができます。

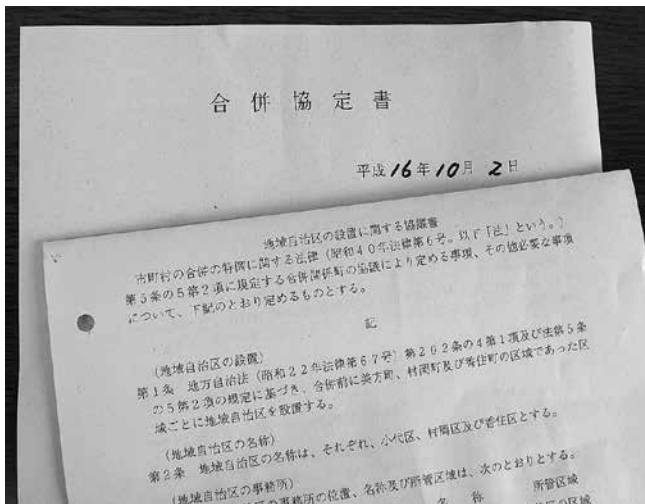
実際に私も使うと、小さな声でも雑音もなく相手の声ははっきり聞こえる。プライバシーの配慮もできるので必要性を感じます。

【町長】難聴者の方々、障害者の方も含めて役場の窓口に来られても、聞

こえにくいのであれば、筆談とかで十分にご理解いただいて対応が今のところはできています。これから、高齢者の難聴者の方々も増えてきますので、まず本庁にカウンター型とか、窓口を設置するようなことは必要性に応じて、これから整備に向けて検討します。



豊岡市竹野振興局に視察



合併時の原則は

新しい地域コミュニティをつくる、と言うが町行政の手足をつくる、



山本 賢司 議員

地域振興基金活かしたまちを！ 新しいコミュニティは実行組織

ということか？住民の求めていることか。この町は、区制を施いて、常設の地域協議会を置き、区毎の特長ある地域をつくらう、財源は借金を元にした地域振興基金で、としたはず。町長は、この町の成り立ち、地域協議会をないがしろにして

町長 現在、組織づくり、活動拠点、支援策などを検討しており、その設立準備会に、兵庫地域創生交付金50万円を当てることになっています。新しい地域コミュニティ組織は地域住民の合意で設

立されるもので、行政組織の下請ではなく、地域課題を住民が主体的に解決し、行政との相互補完となる役割と考えています。地域協議会は、各区の重要事項を審議する役割を担っており、今後、コミュニティづくりも協議してもらいます。地域振興基金も使えると説明します。



予防接種は期間内に



徳田喜代子 議員

風疹予防接種で安心安全な子育てを 家族への抗体検査・予防接種を勧奨します

本年関東で30代から50代の男性の風疹が流行し県内でも発生の可能性が指摘されている。妊娠初期の女性が風疹ウイルス感染すれば生まれてくる赤ちゃんに先天性風疹症

候群という病気になる可能性もあり、予防接種の未接種の人や家族は特にワクチン接種による予防が大切だ。①風疹の予防接種状況②抗体検査と未接種の成人対応を伺う

が未接種者が十数名います。②妊婦健康診査費を助成して妊娠初期に抗体検査を実施し、婚姻された方や同居者に予防接種や抗体検査の勧奨を行います。成人は任意接種で対応はしておらず有料ですが、平成25年に前年の風疹流行に伴い緊急事業を実施したように、妊娠希望女性や妊婦の家族に費用の一部助成などを検討したいと考えています。



守ろう！！ 地域の活気



矢田川クリーンセンターの後始末これでいいのでしょうか？

地域コミュニティづくりについて
①モデル地域を選定し



田野 公大 議員

町の役目は話し合いの機会を作ること ワークショップや学習会等を考えています

て取り組むとあるが進捗状況は。
②多様な主体の参加の下、地域課題について話あう機会を作るのが行政の役目と思うが。
③ワークショップ等で気運の醸成を。
④持続可能性を考える
とコミュニティビジネス

要素が必要と思うが。
②③④の積み上げで住民主体のコミュニティが形成されるのでは
町長 ①モデル地区は2地域を想定し、必要性や取り組み方について、前向きに意見交換等を行っていきます。

②③区長会、各種団体、女性、高校生等を含めた若い世代の参加を求めて、専門家を招いたワークショップや視察、学習会等を想定しています。
④組織設立時からビジネス的要素を取り入れた活動を進めるのではなく、発展的に継続していく中で取り入れていくこととされています。



谷口 眞治 議員

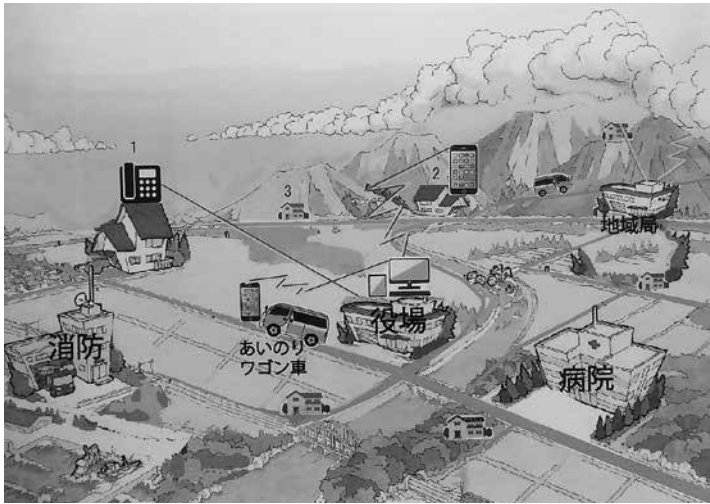
鉛・ヒ素の汚染土壌は撤去すべき 舗装して立入禁止区域にします

の抜本対策を求める

矢田川クリーンセンター解体撤去工事に伴う土壌調査結果と今後の対応について町長に伺うが、これでは、汚染区域を未
来永劫残すこととなり、住民説明と汚染土壌撤去

町長 昭和58年まで使用していた旧施設の地表から基準値を超える鉛とヒ素が検出され、汚染影響確認のための地下水と河川水調査を行いました。汚染原因はよくわかりませんが、推定では、盛土にヒ素が含まれていた可能性と肥料としてまいた乾燥汚泥の中の鉛が蓄積した可能

性があります。対応としては、汚染物質の飛散防止と雨水浸透防止のために舗装し、立入禁止柵を設置して、借地は町が買取し、町が管理します。
災害時の一時使用など考えられるが、他の使用方はできません。住民説明は不安をおおるのでしません。本格対策は、土の入れ替えだけでも2億円以上かかり、考えていません。



多くの町民が利用してくれる、公共交通システムが必要



子どもは宝・子ども第一に

統廃合問題を真剣に議論すべきだ 保護者と地域の意見を尊重します



岸本 正人 議員

5年後には、奥佐津小の全校生が20名で、全複式。佐津小、25名で同じ。

長井小、27名で同じ。余部小、14名で同じとなる。香住小以外は、他校もすべて一部複式が発生する。前回「どうしても無理なら統廃合を考えると発言された。私達と教育委員会にも責任はあると思う。地域の方が無理と言われるまでに提案し、選

択肢をきちんと示して、30年度の各学校版教育環境会議で、きちんと議題にすべきだ

す。統廃合については、子どもありきで考えなければいけない、と十分心得ています。会議を十分充実させながら、話をしたいと思っています。子どものことを抜きにして話をしてもらっては困ります。教育委員会の会議にも議題に現状を説明し、教育委員の意見も聞きたいと思っています。

「高齢者の不安」それは足の確保 福祉・教育も含めデマンド型を検討



西谷 尚 議員

公共交通の取組、特に高齢者の交通の確保について町長はどのように考えているのか。また、高齢者の意見を聞くと「高齢者の交通事故の増加・免許証の自主返納の動き

など理解できる。しかし、自動車に乗れなくなった日から、生活に大きな支障をきたす。私達にとっては死活問題である。何とかしてほしい」私は、新たな交通システムに取り組むべきと考える。GPSを活用し、到着時間が予約時に分かったり、どこでも自由に乗り降り出来る「あいのりワゴン車」の導入を提案する

町長 現状において、様々な課題がまだまだあります。西谷議員の提案においても運輸局の規制の課題があります。出来るだけ多くの町民利用のデマンド型・ドアツードアの対応の型が出来ないか、柔軟な頭でハードルを乗り越えて、多くの町民にとって利便性の高い公共交通を求めずでに検討中です。

一般質問 その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
寺川 秀志	香美町の明るい未来、また災害のない安全・安心な町づくりに思いを紡ぐ 命をみんなで守る 1 1. 香住病院の乳がん検診の充実について 香美町の明るい未来、また災害のない安全・安心な町づくりに思いを紡ぐ 命をみんなで守る 2 2. 香美町総合防災訓練について 香美町の明るい未来、みんな元気で、活気ある町づくりに思いを紡ぐ	藤井 昌彦	・西日本豪雨犠牲者について ・第30回ふれあい旅行について
		西坂 秀美	・有害鳥獣対策について ・新しいコミュニティーについて
		橘 秀太郎	・会議等のペーパーレス化について
		西谷 高弘	・地方創生の取り組みについて問う ・中学校の自転車通学について問う
東垣 典雄	・中山間地域の農業をどう守るかを問う ・香住斎場の今後の整備を問う ・学校（園）の熱中症対策を問う	徳田喜代子	・香美町の地震津波対策について
見塚 修	このまちに住むことに誇りを持ち、より豊かな住みよいまちづくりを求めて (part6) [安心・安全編] ・防災・減災・縮災対策について問う	山本 賢司	・専門職大学に町はどう関わっている？
		谷口 眞治	・学校給食の無料化について問う
西川 誠一	・産業振興について問う ・東京オリンピックの聖火リレーについて	岸本 正人	・「香美町ブランド制度」について問う

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ表示しています。

議案名	議員名	議員名																
		東垣典雄	西坂秀美	橘秀太郎	見塚修	山本賢司	藤井昌彦	西川誠一	徳田喜代子	谷口眞治	寺川秀志	田野公大	西谷高弘	岸本正人	西谷尚	森利秋	上田勝幸	
議案第108号	香美町避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例を定めることについて	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第110号	平成29年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第111号	平成29年度香美町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第112号	平成29年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第113号	平成29年度香美町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので「-」で表示していますが、可否同数で議長採決となった場合には、○または×で表示しています。

うへ山棚田

(小代区)

今回は、美しい「うへ山棚田」の景観を守るため武勇田の仲間と活動されている、小林平さん（小代区貫田）に伺いました。



小林 平さん

「団体の名前は、いつ頃できましたか」

武勇田といえます。2012年5月に発足しました。

「結成の目的とメンバー構成は」

「うへ山棚田」は日本の棚田百選にも選ばれているとても美しい棚田です。

貫田の有志20代〜40代の10数人で、この棚田の景観を守って行こうじゃないかと始めました。

「どのような方針のもとに活動をしていますか」

できる事をできる時に、できる人が、する事です。難しく考えず、みんなができる事をするだけです。それがこの活動の継続につながっています。

「耕作放棄地を守る活動に至ったキッカケは」

僕たちが耕作している



「うへ山棚田」は、棚田の持ち主が高齢で田んぼが作れなくなりました。この美しい棚田の風景がなくなってしまうのは、とても淋しく思い貫田の仲間と活動をする事になりました。

「活動を通して都市交流、世代交流等、どのように地域づくりに活かされていますか」

田植え、草刈り、稲刈り等、田んぼでの作業は子どもから老人、未経験者、誰でも参加できる作業です。誰でもできる・誰ともつながれる・と言うのがこの活動のいいところです。作業の後は、みんなでワイワイ。この活動で棚

田という魅力、子どもから老人まで活力ある地域づくりに活かされていると思っています。

「日々の活動の中で、苦労(悩み)はありますか」

うへ山棚田は、ただ一ヶ所から湧き出る湧き水で、すべての田んぼを賄っています。近年その水の量が少なくなってきたので、水路の改修等、自分たちで行ってきましたが限界もあります。今は、一番に水の確保に苦労しています。



「議会にひと言お願いします」
町民のために日々ありがとうございます。

武勇田の活動の足跡

- 2012年 5月に武勇田結成
- 2013年 国際ワークキャンプで海外の人が稲刈り体験に参加。
- 2014年 新たに耕作放棄地の田んぼ2枚を武勇田で作る。
村岡高校の田植え体験の場として受け入れる。
神戸の大学生の参加が始まる。
- 2015年 新たに3枚の田んぼを作る。(武勇田結成時の3倍)
奈良教育大学、神戸山手大学の学生との交流がはじまる。
- 2017年 小代中学校の生徒が田植え、草刈り、稲刈りに参加。
現在は、学生、生徒たちとの交流をつづけながら活動している。

編集後記

平成最後の秋、台風の猛威が各地方を震撼させました。

さて、その台風の呼び方は何号という以外に名前が付けられているのをご存知ですか。因みに24号は「チャミー」25号は「コンレイ」と呼ぶそうです。

アメリカが発祥ですが、区別し混乱を防ぐために気象学者が、妻や恋人の名前を付け親しみやすく関心をひくための効果を期待したようです。アジアでも近年は台風委員会という団体が決めてある「アジア名」を順番につけるようになりました。

(N)

広報公聴常任委員会

- 委員長 寺川 秀志
- 副委員長 西谷 高弘
- 委員 東垣 典雄
- 見塚 修
- 藤井 昌彦
- 西川 誠一
- 西谷 尚